

2012 年度報告書（研究員）

氏 名	牧野雅子
職 位	グローバル COE 研究員（短時間勤務）
研究概要	
<p>2012 年度次世代研究出版プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交差する「親密圏」・つなぎ合う「公共圏」としてのフィールド：調査者と協力者、異なるポジションナリティ間の交渉の場からの考察 ・帝国日本の戦時性暴力再考：ジェンダー研究による親密圏と公共圏の脱構築に参加 <p>性暴力に対する公権力、とりわけ警察の活動について、ジェンダーの視点による歴史社会学的研究を行った。特に、これまでは取り上げられることの少なかった「加害者」に対する公権力のまなざしに焦点を当て、部内資料などの分析を行った。これらの研究成果は、学会報告及び出版予定の著書に反映されている（他にも、現在審査中の論文あり）。</p> <p>また、グローバル COE 2012 年度次世代研究出版プロジェクト「帝国日本の戦時性暴力再考：ジェンダー研究による親密圏と公共圏の脱構築」では、戦時中の姦通罪の取締りについて警察部内資料の分析・考察を行い、論文にまとめた。該当論文は、次世代研究出版プロジェクトの報告書の一部として提出される予定である。</p>	
業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）	
<p>著書</p> <p>『刑事司法とジェンダー』インパクト出版会 2013・3（予定）</p> <p>学会発表</p> <p>「1958 年（昭和 33 年）の強姦罪認知件数増加をどう読むか」 日本女性学会（2012・6）大正大学</p> <p>研究助成</p> <p>「警察官の妻」が治安維持業務に果たす役割に関する歴史的研究 30,000 円 日本女性学会 2012 年度少額研究活動支援</p> <p>人文・社会系若手研究者出版助成（博士論文出版） 1,100,000 円 2012 年度 京都大学人間・環境学研究所 人文・社会系若手研究者出版助成</p>	

